

ヤマボウシは、ハナミズキの近縁にあたり、花びらのように見える純白の総ほう（花のつけ根の葉）が美しい花木です。落葉性と常緑性があります。

葉が出たあとに枝先に開花するので華やかさは少ないのですが、梅雨時の花木としては価値が高く、比較的花の観賞期間も長いのが特長です。

果実は8月から9月に紅橙色に熟し、果肉は粘質で甘く生食できます。

早期に樹形が安定する樹木なので、取り立てて剪定をする必要はなく、自然樹形で育てるのが一般的ですが、剪定するなら適期は12～2月です。

幹肌が鹿の子模様になることから、個人庭園のシンボルツリーや景観木、公園木のほか、街路樹としても広く利用されています。



お手入れメモ

ヤマボウシは、水やりや剪定等の手間がかからない、初心者でも育てやすい花木です。

＊開花時期 6月～7月

＊特性 日がよく当たるやや乾燥した場所で、通気性、透水性のよい肥沃土を好みます。

＊水やり 特に必要はありません。

＊その他 剪定をする場合は、必ず枝分かれしている付け根から切るようにしましょう。

